



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6924 URL <http://www.iwasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 加藤 昌範 TEL 03-5847-8611  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,063	△5.4	△820	—	△792	—	△690	—
29年3月期第1四半期	10,637	2.2	△684	—	△682	—	△504	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △584百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △992百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△8.92	—
29年3月期第1四半期	△6.78	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	65,308	24,894	38.1	321.81
29年3月期	69,463	25,791	37.1	333.41

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 24,894百万円 29年3月期 25,791百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となり、1株当たり年間配当金も4円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,500	2.2	△350	—	△400	—	△250	—	△32.32
通期	58,000	2.5	1,400	43.9	1,400	39.7	1,000	197.8	129.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	78,219,507株	29年3月期	78,219,507株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	862,216株	29年3月期	861,262株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	77,357,854株	29年3月期1Q	74,362,931株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月28日開催の第102回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 0円00銭 期末 4円00銭（注1）

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 第2四半期（累計） △3円23銭 通期 12円93銭

（注1）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注2）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は4円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	8
地域別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では内外需の回復に支えられ企業収益が改善し、ユーロ圏でも外需の持ち直しを受け製造業の生産の増勢が持続するなど、緩やかな景気回復基調が続きました。また、アジア地域では、中国は政府主導の各種政策が下支えとなったことで景気減速に歯止めが掛かるなど、地域全体においても緩やかな成長基調となりました。わが国経済は、欧米向けの輸出の増加や株価の上昇を背景に企業収益が改善し、個人消費も持ち直すなど、景気は緩やかな回復傾向となりました。

このような環境の中、当社グループは全社重点事業戦略として「付加価値を追求したLED照明事業の拡大」「光・環境事業における新規分野への展開」「海外重点地域への戦略的商品投入による事業の推進」の3項目を掲げて事業展開を推進してまいりました。照明事業では、LED照明の新商品を軸に市場訴求を展開し国内を中心に売上高は増加しましたが、従来型照明事業は海外で減少となりました。また、光・環境事業では、UVキュア事業および電子線照射装置関連において、前年同期ほどの受注に至らず、売上高は低調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,063百万円（前年同期は10,637百万円で5.4%の減少）、営業損失は820百万円（前年同期は684百万円で135百万円の悪化）、経常損失は792百万円（前年同期は682百万円で109百万円の悪化）、親会社株主に帰属する四半期純損失は690百万円（前年同期は504百万円で185百万円の悪化）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <照明>

照明事業は、LED照明事業において、投光器や高天井用照明器具などを中心に、施設や用途に適した商品バリエーションを増強し、新商品を軸とした照明設計提案を展開したことにより売上高は堅調に推移しましたが、利益面では、一部のLED商品において市場価格の下落の影響を受けました。一方、従来型照明事業においては、照明需要のLED化の動きを受けて減少傾向が続く中、国内ではHIDランプのメンテナンス需要に対応したことにより前年並みで推移したものの、海外現地法人におけるHIDランプの落ち込みが大きく、売上高、営業利益とも減少しました。

これらの結果、売上高は7,731百万円（前年同期は7,519百万円で2.8%の増加）、営業損失は83百万円（前年同期は20百万円で62百万円の悪化）となりました。

#### <光・環境>

光・環境事業は、環境試験関連分野およびUVキュア事業において、小型光照射装置やUV-LED照射器など新商品の開発と市場投入に注力し、国内では前年並みの売上高で推移しました。一方、海外ではUV滴下装置関連および電子線照射装置関連において前年同期に納入した大型案件をカバーするまでの件名受注には至らず、売上高、営業利益とも減少しました。なお、殺菌、滅菌事業および情報機器関連事業においては、売上高、営業利益ともほぼ前年並みに推移しました。

これらの結果、売上高は2,343百万円（前年同期は3,130百万円で25.1%の減少）、営業損失は199百万円（前年同期は137百万円で61百万円の悪化）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている平成30年3月期の業績予想ならびに将来予想に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内および諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、現時点における第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,933	14,179
受取手形及び売掛金	14,517	9,396
電子記録債権	1,696	1,779
商品及び製品	6,310	7,221
仕掛品	1,745	2,097
原材料及び貯蔵品	4,385	4,366
その他	1,700	1,920
貸倒引当金	△44	△44
流動資産合計	45,243	40,917
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,953	9,953
その他(純額)	7,807	7,828
有形固定資産合計	17,760	17,781
無形固定資産	935	891
投資その他の資産	5,523	5,717
固定資産合計	24,219	24,390
資産合計	69,463	65,308
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,767	7,850
電子記録債務	2,719	2,334
短期借入金	1,020	969
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	533	533
未払法人税等	299	76
賞与引当金	621	160
その他の引当金	313	267
その他	3,191	2,960
流動負債合計	19,466	16,153
固定負債		
社債	2,600	2,600
長期借入金	2,816	2,816
退職給付に係る負債	13,774	13,787
資産除去債務	77	77
その他	4,935	4,978
固定負債合計	24,204	24,260
負債合計	43,671	40,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	12,947	11,945
自己株式	△137	△137
株主資本合計	23,520	22,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,758	1,916
土地再評価差額金	2,684	2,684
為替換算調整勘定	△141	△242
退職給付に係る調整累計額	△2,029	△1,981
その他の包括利益累計額合計	2,271	2,376
純資産合計	25,791	24,894
負債純資産合計	69,463	65,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,637	10,063
売上原価	7,528	7,167
売上総利益	3,108	2,896
販売費及び一般管理費	3,793	3,717
営業損失(△)	△684	△820
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	48	51
保険配当金	27	25
その他	16	13
営業外収益合計	94	91
営業外費用		
支払利息	28	29
持分法による投資損失	40	27
その他	24	5
営業外費用合計	92	62
経常損失(△)	△682	△792
特別利益		
固定資産売却益	20	13
特別利益合計	20	13
特別損失		
固定資産除売却損	7	5
投資有価証券評価損	9	—
関係会社の清算に係る為替換算調整勘定取崩額	—	50
特別損失合計	16	55
税金等調整前四半期純損失(△)	△678	△833
法人税等	△177	△143
四半期純損失(△)	△501	△690
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△504	△690

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△501	△690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	157
為替換算調整勘定	△307	△106
退職給付に係る調整額	71	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	5
その他の包括利益合計	△491	105
四半期包括利益	△992	△584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,008	△584
非支配株主に係る四半期包括利益	15	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,508	3,128	10,637	—	10,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	1	12	△12	—
計	7,519	3,130	10,649	△12	10,637
セグメント損失(△)	△20	△137	△158	△526	△684

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△526百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,722	2,341	10,063	—	10,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	1	10	△10	—
計	7,731	2,343	10,074	△10	10,063
セグメント損失(△)	△83	△199	△282	△538	△820

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△538百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日） (単位：百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
8,210	1,563	736	127	10,637

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日） (単位：百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
8,433	921	610	97	10,063

以上